土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　R２江戸川管内地質調査業務

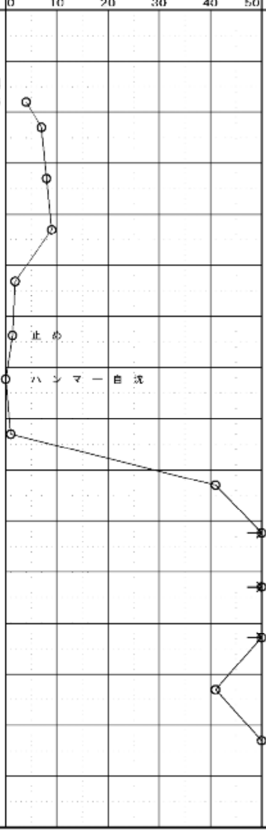
事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	R2篠崎B-1	調査位置	東京都江戸川区上篠崎1丁目地先	北緯	35°42'58.80"
発注機関	国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所	調査期間	2020年 8月24日～2020年 8月27日	東経	139°54'02.35"
調査業者名	株式会社 東京ソイルリサーチ 電話（ 03-3463-2281 ）	主任技師	[redacted]	現場代理人	[redacted]
コア鑑定者	[redacted]	ボーリング責任者	[redacted]		
孔口標高	Y.P.+2.20m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 カノー KR-100HB-3		
総削孔長	14.45m		エンジン ヤンマー TF120VE	ポンプ	東邦 BG-4

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位/測定月日
2.00	0.20	盛土	暗茶褐			盛土	0.00～1.50m試掘。瓦礫及び砕石(φ2～30mm)少量混入。草根多量混入。	
-1.30	0.90	ローム	暗灰					▽ 8/24 0.95 無水掘り水位
-0.70	1.50	盛土 瓦礫混じり細砂	暗灰				瓦礫及び砕石(φ2～200mm)多量混入。レンガ片及び木片混入。粒径不均一。粒子粗い。	
		盛土 粘土					上部が礫(φ2～200mm)少量混入。所々酸化している。	
-2.60	4.80	細砂	暗灰	rd2		沖積層	4.20m以深砂質シルト不規則に挟む。上部所々暗褐灰色の細砂混入。粒径均一。粒子細かい。	
-3.60	5.80	砂質シルト	暗灰		rc1		細砂薄く不規則に挟む。有機物極く少量混入。	
-6.40	8.60	砂質シルト	暗灰		rc1		8.30m以深貝殻混じり挟む。貝殻、細砂少量混入。	
-6.95	9.15	貝殻混じり細砂	暗灰				固結した砂ブロック状に挟む。貝殻多量混入。粒径不均一。粒子細かい。	
-7.60	9.80	細砂	暗灰	rd4			粒径均一。粒子細かい。	
-10.90	13.10	細砂	暗緑灰	rd5		洪積層	下部中砂多量混入。粒径均一。粒子細かい。	
-12.25	14.45	細砂	暗黄褐灰	rd4～rd5			粒径均一。粒子細かい。	

標準貫入試験



深度 (m)	N値	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.65～[illegible]	4	1/80	2/160	1/60	4/300		
[illegible]～2.45	7	2/90	3/120	2/90	7/300		
3.15～3.45	8	3/90	3	2/110	8/300		
4.15～4.45	9	3	3/110	3/90	9/300		
5.15～5.47	1.9	1/190	1/130	—	2/320		
6.15～6.60	1.3	1/240	1/210	—	2/450		
7.00～7.45	0.0	0/450	—	—	0/450		450
8.15～8.45	1	0/190	1/110	—	1/300		
9.15～9.45	41	10	14	17	41/300		
10.15～10.31	94	25	25/60	—	50/160	160	
11.15～11.44	52	10	16	24/90	50/290	290	
12.15～12.42	56	16	20	14/70	50/270	270	
13.15～13.45	41	12	13	16	41/300		
14.15～14.45	50	14	17	19	50/300	300	

試料採取・室内試験

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験 / 原位置試験
	P1		ρs, 含水, [illegible]
2.00～3.00	1	A	ρs, 含水, [illegible], ρt, 三CD
3.00	現場透水試験		
	P2		ρs, 含水, [illegible]
	P3		ρs, 含水, [illegible]
	P4		ρs, 含水, 粒度, 液性, 塑性
6.00	2	T	ρs, 含水, 粒度, 液性, 塑性, ρt, 三[illegible], 圧密
	P5		ρs, 含水, 粒度, 液性, 塑性
	P6		ρs, 含水, 粒度, 液性, 塑性

削孔月日: 08/24, 08/25